

2024 年度後学期 学生による授業評価アンケート総評

2025 年 1 月

浦安キャンパス FD・SD 委員会

本総評は、2024 年度後学期に実施した浦安キャンパスにおける「学生による授業評価アンケート実施結果」について、各学部学科及び教育センターによる集計結果分析に基づき、明らかになった課題、及び今後の授業改善に向けた方策についてまとめたものである。

1. アンケート実施結果の概要

(1) 実施期間

- ・2024 年 11 月 25 日（月）から 12 月 7 日（土）まで

（注）本学では、2019 年度後学期から 2023 年度後学期までの 4 年半に渡り、各学期 2 回（年間 4 回）アンケートを実施してきた。教育の質的改善の PDCA サイクルの一環として、当該期間におけるアンケート結果を検証したところ、1 回目のアンケートによる学生からのフィードバックが後半の授業に活かされた例が教員の結果分析に見られるなど、一定の効果があつたことが認められた。また、各学科・部門の授業に対する満足度の平均値は、いずれの回もおおむね高評価を得ており、さらに 1 回目と 2 回目の結果が大きく異なるわけではないことが分かった。このことを踏まえ、2024 年度前学期よりアンケート実施回数を学期の終盤 1 回のみとした。ただし、授業改善の PDCA サイクル促進のため、授業期間の中盤にペーパーアンケート、manaba、respon 又は Google Forms 等を活用して授業の感想を得るなど、各授業の担当教員が、授業期間中の任意の時期に任意の方法で、授業評価とは異なる形で学生から授業に関する意見等のフィードバックを受け、当該学期中の授業改善に取り組むこととした。

(2) 実施対象

- ・全教員、575 科目（ただしゼミの授業科目、履修者 5 名以下の授業科目、及び再履修者のみが履修する授業科目は除く。また、1 教員あたり同一名称の授業、科目が複数ある場合は、履修者最多の授業科目とする）。

(3) 調査方法

- ・Web 入力方式（スマートフォンやパソコン等を利用して、アンケート実施期間中の任意の時間に、Web ポータルシステムから回答）。

(4) 評価方法

- ・5 段階評価（5. 満足、4. やや満足、3. どちらともいえない、2. やや不満、1. 不満）。

(5) 質問項目

- ・授業について7項目。

(6) 回答学生数

- ・延べ 7,202 名（回答率 35.2%）

（注）回答率は、有効回答者数÷履修登録者数（小数第二位を四捨五入）で算出した。2023 年度の同時期に行われた後学期 2 回目アンケートの回答率が 28.7%であることから、低水準でありながらも、かなりの改善が見られるといえる。

2. 集計結果と分析

〔表 1〕は各項目における評価の平均値を、各学部学科、及び教育センター別に集計したものであり、これをレーダーチャートにしたのが〔図 1〕である。すべての区分において質問項目の平均値が 4 点以上となっており、授業の質、及び自らの学修に対して高い水準の評価がなされていると言ってよい。

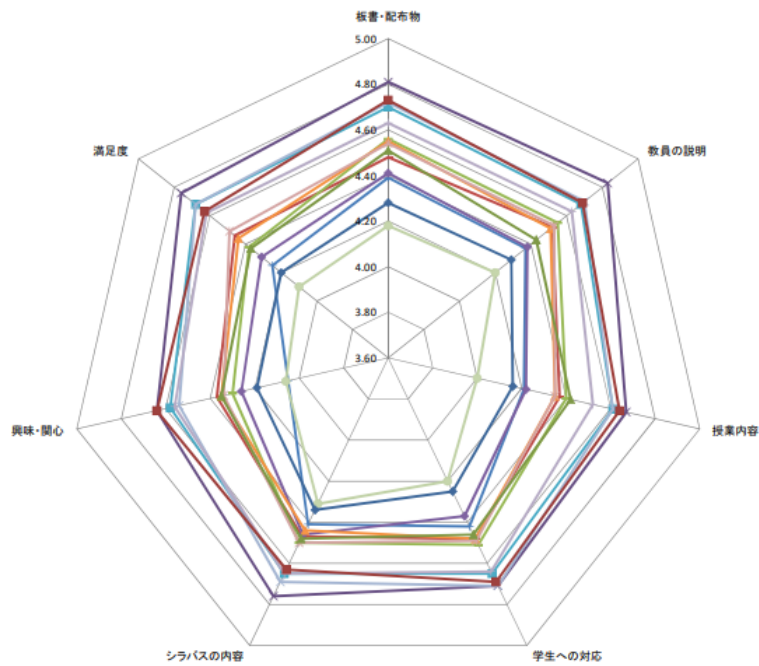
（注）2024 年度前学期では、質問項目 3 番「授業の内容をよく理解できましたか。」に対する「不動産学科専門科目」の平均値が 3.98、質問項目 6 番「この授業で興味や関心が深まりましたか。」に対する「基礎教育科目」の平均値が 3.98 であり、わずかに 4 点にとどかなかった項目が 2 つあったが、今回はすべての区分において質問項目の平均値が 4 点以上となっており、より高い授業の質、及び自らの学修に対してより高い水準の評価が確保できたと考えられる。

さらに〔表 1〕では、質問項目の平均値が 4.5 点以上の項目について、赤色のマークを施した。ここから明らかなように、「日本語学科専門科目」、「中国語学科専門科目」、「HT 学科専門科目」、「特別科目」、「教職科目」において、すべての項目が 4.5 点以上の水準を上回っている。全体的に質の高い学修がなされていると考えられる本学においても、これらの学部学科等では、とりわけすぐれた学修がなされていると考えられる。

〔表 1〕

教員	No.	設問文	基礎教育	人間力形成教育	キャリア形成教育	特別科目	専門科目 外国語学部 GS関連科目	専門科目 日本語学科	専門科目 英米語学科	専門科目 中国語学科	専門科目 経済学科	専門科目 不動産学科	専門科目 HT学科	専門科目 口腔保健学科	教職科目	多言語コミュニケーション
		平均時間〔各選択肢を0分、15分、45分、90分、150分、180分として算出した平均時間(分)〕	19.70	21.83	16.76	44.89	30.00	28.30	28.23	38.95	20.34	39.48	25.15	32.41	31.30	25.48
A-2	1	板書(スクリーンの文字・画像等)・配布物は読みやすかったですか	4.39	4.48	4.56	4.81	4.41	4.70	4.55	4.72	4.54	4.18	4.63	4.28	4.73	4.51
	2	教員の説明はわかりやすく、授業の進み具合は適切でしたか	4.37	4.52	4.55	4.83	4.38	4.68	4.51	4.70	4.53	4.20	4.63	4.29	4.69	4.43
	3	授業の内容をよく理解できましたか	4.21	4.37	4.40	4.67	4.22	4.61	4.35	4.61	4.35	4.00	4.52	4.16	4.64	4.42
	4	教員の学生への対応(質問等)は適切でしたか	4.42	4.48	4.51	4.71	4.37	4.65	4.48	4.71	4.49	4.20	4.64	4.25	4.69	4.46
	5	授業はシラバスの内容に沿って実施されていましたか	4.41	4.47	4.50	4.76	4.46	4.65	4.44	4.69	4.50	4.31	4.65	4.34	4.63	4.48
	6	この授業で興味や関心が深まりましたか	4.05	4.37	4.30	4.64	4.26	4.58	4.35	4.54	4.34	4.06	4.56	4.19	4.64	4.35
	7	この授業に対するあなたの満足度をお答えください。	4.25	4.46	4.38	4.76	4.31	4.68	4.44	4.68	4.49	4.10	4.62	4.20	4.63	4.37
B-1	8	(教員自由設定項目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
B-2	9	(教員自由設定項目)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

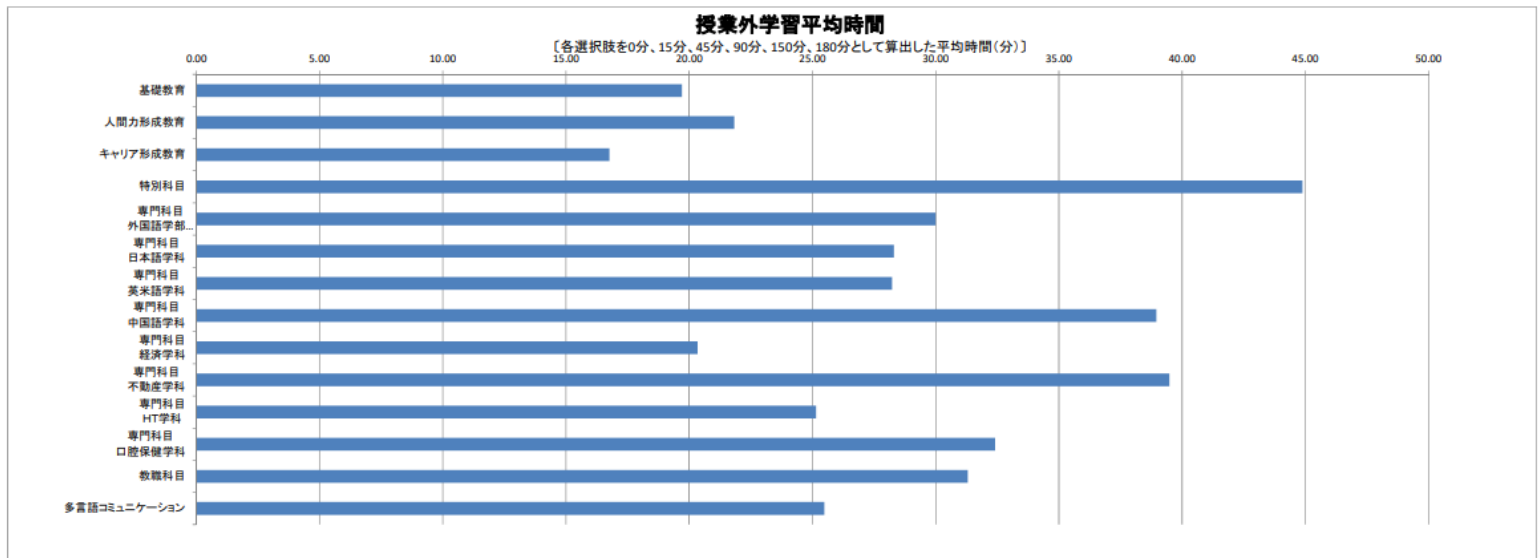
〔図 1〕



—基礎教育 —人間力形成教育 —キャリア形成教育 —特別科目 —専門科目 (外国語学部GS関連科目) —専門科目 (日本語学科) —専門科目 (英米語学科) —専門科目 (中国語学科) —専門科目 (経済学科) —専門科目 (不動産学科) —専門科目 (HT学科) —専門科目 (口腔保健学科) —教職科目 —多言語コミュニケーション

〔図 2〕は、各区分別の授業外学修平均時間である。最も長いものでも「特別科目」の44.89分であるなど、本学においては、区分を問わず授業外学修平均時間は短く、単位の実質化に向けて課題となろう。

〔図 2〕



また〔表2〕は、2023年度後学期2回目アンケートと、2024年度後学期アンケートの授業外学修平均時間を比較し、一覧にしたものである。なお2024年度後学期アンケートにおいて、前年度からわずかでも伸びがあったものには薄い赤色のマークを、10分以上の伸びがあったものには濃い赤色のマークを施した。

〔表2〕

	基礎教育	人間力形成教育	キャリア形成教育	特別科目	専門科目 外国語学部 GS関連科目	専門科目 日本語学科	専門科目 英米語学科	専門科目 中国語学科	専門科目 経済学科	専門科目 不動産学科	専門科目 HT学科	専門科目 口腔保健学科	教職科目	多言語コミュニケーション
2023後期②	28.98	30.03	24.87	58.46	29.28	26.09	33.32	27.97	27.90	47.32	23.13	21.45	40.76	27.37
2024後期	19.70	21.83	16.76	44.89	30.00	28.30	28.23	38.95	20.34	39.48	25.15	32.41	31.30	25.48

このことから、多くの学部学科等で授業外学修平均時間が減少しているが、「外国語学部GS関連科目専門科目」、「日本語学科専門科目」、「HT学科専門科目」においてわずかの増加が見られるとともに、「中国語学科専門科目」、「口腔保健学科専門科目」においては10分以上の大幅な増加が見られることが明らかになった。

3. アンケート結果から明らかになったことと今後の課題

(1) アンケート結果から明らかになったこと

前述のとおり、本学においてはすべての区分において、質問項目の平均値が4点以上となっており、授業の質、及び自らの学修に対して高い水準の評価がなされていると言ってよい。とりわけ「日本語学科専門科目」、「中国語学科専門科目」、「HT学科専門科目」、「特別科目」、「教職科目」において、すべての項目が4.5点以上の水準を上回っている。全体的に質の高い学修がなされていると考えられる本学においても、これらの区分の授業では、とりわけすぐれた学修がなされていると考えられる。

一方で、各区分別の授業外学修平均時間については、本学においてはすべての区分において総じて短いと言わざるを得ず、さらに多くの区分で授業外学修平均時間が減少していることは問題視すべきであろう。けれども「外国語学部GS関連科目専門科目」、「日本語学科専門科目」、「HT学科専門科目」においては、わずかの増加が見られるとともに、「中国語学科専門科目」、「口腔保健学科専門科目」において10分以上の大幅な増加が見られることは特筆に値する。

(2) 今後の課題

本学では、授業アンケートの結果、すべての区分において質問項目の平均値が4点以上となっており、授業の質、及び自らの学修に対して高い水準の評価がなされていると言ってよい。ただし授業外学修平均時間は、いずれの区分においても60分に満たず、単位の実質化に向けての課題がある。

そこで着目したいのは、多くの区分で授業外学修平均時間が減少しているにもかかわらず、10分以上の大幅な増加が見られた「中国語学科専門科目」、「口腔保健学科専門科目」である。これらの区分の授業運営に注目し、授業外学修平均時間が大幅に増加した原因を究明するとともに、それを全学で共有することが有効ではないかと思われる。授業外学修時間の確保に向けては、上記のような、全学的な改善への取り組みが必要であろう。